

あめ ひ ちゅうい 「雨の日に注意すること」

令和4年5月30日
摂津小学校

じどう もんだい
児童のみなさんに問題です。

つぎ しゃしん み あと お
次の写真を見てください。この後、どうということが起こるでしょうか？



かさ つか かた
◇ 傘の使い方

かぜ つよ とき
◇ 風が強い時

かさ も かた
◇ 傘の持ち方

あめ ひ しゃしん き
雨の日には、写真のように気をつけないといけないことがいくつかあります。

あめ ひ は ひ こうつうじ こ お まえ み き げんいん
雨の日、晴れの日より交通事故が起こりやすくなります。前が見えにくい、ブレーキが効きにくいなどが原因です。

いじょう まわ み お つ どうげこう
いつも以上に、周りをよく見て、落ち着いて登下校しましょう。



保護者の皆様

傘を振り回すなど、一歩間違えば大きなケガにつながるような事案の報告をいくつか受けております。

傘の使用について、改めてご家庭でお話願います。

雨の日の子どもの安全についても、合わせてお話ください。

傘をさすと、周囲が見えにくくなります。雨音で、周囲の音も聞こえにくくなります。まわりの様子が把握しづらく、近づいてくる車、自転車に気づくのが遅れがちになります。それは、大人も子どもも同じです。

水たまりに気をとられたり、走ってマンホールで滑ってしまったり、晴れの日にはない危険があります。

事故を防ぐために、子どもに「雨の日はいつもと同じように歩いていたら危ないから気をつけよう」という自覚をもたせるよう声かけをお願いします。また、目立つ色の傘や服を身に着けさせることもリスク軽減になります。

子どもにずっと付き添うことはできません、子ども自身の意識が何より大切です。

大切なお子様が事故に巻き込まれないために、ご家庭でぜひお話しいただきたいと思います。